

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	長野 寛
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3254
事務事業名	13746 霊園施設整備事業						
所 属	121000 市民環境部・生活環境課						
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040107 衛生費・保健衛生費・霊園管理費					
	事業	020000 霊園施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
市営霊園整備				市営霊園施設内の整備を行い、使用者の利便性を向上させる。 ・松川霊園内へ新合葬式墓地を建設する。(H30) ・坂田霊園の擁壁補修工事を行う。(H30-H31) ・松川霊園の駐車場整備を行う。(H32)			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
松川霊園第二合葬式墓地建設設計業務委託 坂田霊園擁壁補修工事に伴う測量業務委託 坂田霊園擁壁補修工事に伴う設計業務委託	松川霊園第二合葬式墓地建設 坂田霊園擁壁補修工事
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
坂田霊園擁壁補修工事	松川霊園駐車場整備工事

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		48,753	2,750
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,263	0
一般財源		46,490	2,750
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,145.0	1,430.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,145.0	1,430.0
市民一人当たりの経費		1.0	0.1
総額		50,898.0	4,180.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	423	松川霊園第二合葬式墓地建設工事監理業務423
15節 工事請負費	48,330	松川霊園第二合葬式墓地建設工事38,340 坂田霊園擁壁修繕工事9,990
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	2,750	坂田霊園擁壁修繕工事2,750
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<p>お墓の管理や承継の心配をされている方が増加傾向にあり、お墓の建立と維持管理が不要である合葬式墓地の重要が高く、第一合葬式墓地の満了に伴う第二合葬式墓地の建設。 坂田霊園造成から経年劣化した擁壁の修繕であり、修繕は必要不可欠。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<p>個別納骨方式で518体、全体では1500体と住民要望に十分応えられるものになった。 坂田霊園の安全確保から擁壁修繕は必要不可欠。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	<p>お墓の管理や承継の心配をされている市営霊園一般区画の利用者に、合葬式墓地への改葬を案内することで、将来的な無縁墓地化の防止に努めた。 返還された一般区画は、一般区画を希望される方へ再募集により提供される。</p>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

松川霊園第二合葬式墓地の建設工事が完成した。3月の見学会には計308名の参加があった。
坂田霊園の擁壁修繕工事では、擁壁空洞部が想定より大きいなど、予定より進捗が遅れた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

霊園を訪れる方々の安全安心、利便性を向上させるためにも必要不可欠な事業である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

老朽化が進む坂田霊園の擁壁など施設の修繕工事は継続して行う必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--